



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社ジェイエスエス
コード番号 6074 URL <https://www.jss-group.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤木 孝夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 濱治 雅弘

TEL 06-6449-6121

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,391		289		287		202	
2024年3月期第3四半期								

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 204百万円 (%) 2024年3月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	52.84	
2024年3月期第3四半期		

(注) 当連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であるため、2024年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,715	3,020	39.1
2024年3月期			

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 3,020百万円 2024年3月期 百万円

(注) 当連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であるため、2024年3月期については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		7.25		7.25	14.50
2025年3月期(予想)		7.50		10.00	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,430		420		420		270		69.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であるため、対前期増減率については記載しておりません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社ワカヤマアスレティックス、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	4,026,056 株	2024年3月期	4,026,056 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	403 株	2024年3月期	158,403 株
------------	-------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	3,836,108 株	2024年3月期3Q	3,867,653 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結累計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、当社は、2024年5月31日を取得日として株式会社ワカヤマアスレティックスを連結子会社化し、中間連結会計期間より連結財務諸表作成会社に移行いたしました。従いまして、前年同第3四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表を作成しておりませんので、これらとの比較分析は行っておりません。

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、緩やかに回復することが期待されるものの、米国の今後の政策動向による影響、中国における景気の下振れリスク等、先行きに対する不確実性があります。

このような中、当社グループは「水を通じて健康づくりに貢献する」という経営理念のもと、より多くの人に心と体の元気を届けるべく、ベビーからシニアまで幅広い層の健康促進に取り組んでまいりました。

子供会員集客の施策では、新規獲得を目的とした、秋の入会キャンペーンや体験会の他、過去に会員であった人を対象とした「カムバックキャンペーン」や1日体験会を含めた間口を広げた集客の施策を実施する事より、当社の子供向け教育ノウハウの強みを訴求し、会員の獲得に努めてまいりました。

大人会員集客の施策では、国内特許を取得した自社開発の水中バイク「Jパドルバイク」に水中トランポリン、水中ウォーキングプログラムを合わせたオリジナルの水中運動プログラム「バイポリン&ウォーク」について、当社事業所にて展開するほか、他社施設への販売拡大にも努めてまいりました。

水泳授業受託では、全国的な学校プール施設の老朽化や指導者不足により水泳授業の民間委託が増加するなか、当社の培ってきた専門的な水泳指導のノウハウを活かした小中学校への水泳授業受託を実施しました。今後も自治体からの入札要請やインストラクター派遣依頼に積極的に対応してまいります。

選手強化面では、2024年10月の第66回日本選手権(25m)水泳競技大会において、難波実夢選手（JSS）が400m自由形で優勝となりました。

また、同年12月の競泳ジャパンオープン2024(50m)において難波実夢選手が400m自由形で優勝、800m自由形で3位となりました。

日本テレビホールディングス株式会社との業務提携の状況につきましては、同社100%子会社である株式会社ティップネス（以下「ティップネス」）との協業について、両社のノウハウ・経営資源を持ち寄ることで、両社の企業価値向上に資する効果的なシナジーをさらに強力に推進するため、以下の施策を進めてまいりました。

<ティップネスとの主な協業内容>

- 「地域から水難事故を0（ゼロ）に！着衣泳体験会」の開催
2005年より安全水泳に取り組んでおります当社のノウハウを活かし当社とティップネス社2社共同開催の形で、不慮の事故から命を守る対処法を身につける「着衣水泳体験会」を2024年5月19日にJSSスイミングスクールおゆみ野（千葉市緑区）で開催、6月30日にはJSSスイミングスクール立石（東京都葛飾区）で開催しました。
- 「JSS&Tipnessジョイントマスターズ大会in東京アクアティクスセンター」の開催
2024年9月29日に3回目となる当社とティップネス社2社合同によるJSS&Tipnessジョイントマスターズ大会を東京五輪の競泳会場となった東京アクアティクスセンターで開催いたしました。
- オンラインフィットネス配信サービス「トルチャ」の提供
ティップネスが持つオンラインフィットネス配信サービス「トルチャ」を当社会員およびその家族向けに提供し、顧客満足度向上とコロナ禍における施設に頼らない収益確保策の一つとしました。
- JSSキッズファミリープラン
両社が近隣に商圏を持つ事業所において当社子供会員の家族が割引価格でティップネスの事業所を利用出来る「JSSキッズファミリープラン」を設定し、顧客満足度向上につながるものとなりました。
- 協業会議および分科会の定期開催
当社とティップネスとの情報交換の機会として、協業会議および各業務、テーマに沿ったより細分的な会議体としての分科会を実施しております。
- その他
商材や備品の共同購入によるコスト削減や人事採用の情報交換等、両社の強みとスケールメリットを活かした様々な分野におけるシナジー効果を生み出す取り組みを協議し、実施するとともに、更なる施策の準備を進めてまいりました。

また、2024年11月14日に公表しました「今後のM&A戦略強化」第一弾として実施した株式会社ワカヤマアスレティックスの連結子会社化などの施策により、当第3四半期連結会計期間末における当社グループの会員数は88,258人となり、売上も増加しました。

一方、費用面では、将来への投資として従業員の処遇改善に伴う人件費の増加、集客強化に伴う広告宣伝費の増加、前述の連結子会社化に伴う一時的な費用の発生等により、費用は増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,391百万円、営業利益289百万円、経常利益287百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益202百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は7,715百万円、負債合計は4,695百万円であり、純資産合計は3,020百万円となりました。

なお、当社は2024年6月30日をみなし取得日として株式会社ワカヤマアスレティックスを連結子会社化し、連結財務諸表作成会社に移行したため前連結会計年度との比較は行っていません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月14日に公表しました連結業績予想から修正を行っていません。

また、2025年3月期の配当予想につきましては、配当政策の変更を踏まえ、2025年1月16日付で修正を行います。詳細につきましては、2025年1月16日に公表いたしました「配当政策の変更（累進配当の導入）及び剰余金の配当（増配）の決議に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,162,240
受取手形、売掛金及び契約資産	121,182
商品	129,806
未収還付法人税等	3,020
その他	173,272
貸倒引当金	△1,769
流動資産合計	1,587,752
固定資産	
有形固定資産	
建物 (純額)	2,960,356
土地	1,866,691
その他 (純額)	146,133
有形固定資産合計	4,973,180
無形固定資産	
のれん	85,986
その他	12,586
無形固定資産合計	98,572
投資その他の資産	
敷金及び保証金	741,223
その他	332,627
貸倒引当金	△17,442
投資その他の資産合計	1,056,409
固定資産合計	6,128,162
資産合計	7,715,914
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	176,863
1年内返済予定の長期借入金	516,258
未払法人税等	10,454
未払消費税等	71,472
前受金	526,288
賞与引当金	1,369
その他	633,904
流動負債合計	1,936,609
固定負債	
長期借入金	2,037,493
退職給付に係る負債	56,312
資産除去債務	568,660
繰延税金負債	35,930
その他	60,379
固定負債合計	2,758,775
負債合計	4,695,385

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)	
純資産の部	
株主資本	
資本金	330,729
資本剰余金	125,665
利益剰余金	2,607,621
自己株式	△45,569
株主資本合計	3,018,446
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	2,083
その他の包括利益累計額合計	2,083
純資産合計	3,020,529
負債純資産合計	7,715,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	6,391,198
売上原価	5,331,560
売上総利益	1,059,638
販売費及び一般管理費	770,056
営業利益	289,581
営業外収益	
受取利息	730
貸倒引当金戻入額	1,957
受取保険金	2,942
その他	13,173
営業外収益合計	18,804
営業外費用	
支払利息	10,910
関係会社負担金	7,264
その他	2,349
営業外費用合計	20,525
経常利益	287,860
特別損失	
固定資産除却損	501
特別損失合計	501
税金等調整前四半期純利益	287,359
法人税、住民税及び事業税	51,820
法人税等調整額	32,842
法人税等合計	84,662
四半期純利益	202,696
親会社株主に帰属する四半期純利益	202,696

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	202,696
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,083
その他の包括利益合計	2,083
四半期包括利益	204,779
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	204,779

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループはスイミングスクール運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年10月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式348,000株の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結会計期間において自己株式が156百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が45百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	172,641千円
のれんの償却額	5,732千円